

2024年6月28日

第89期定時株主総会における質疑応答概要

日時： 2024年6月26日（水）10:00～10:30

場所： 古河電池株式会社（星川SFビル）6階

議長： 代表取締役社長 黒田 修

1

Q 当社の海外事業の展開、それからそれぞれの国における特徴についてのご質問をいただいた。

A （千葉取締役常務執行役員が回答）

- 産業セグメントに関する海外の売上は、主に中国となっている。製品群としてはアルカリ電池。昨年度実績は約10億円。今年度以降は、インドの鉄道もターゲットにする。

（田口取締役常務執行役員が回答）

- 自動車セグメントは、特にマレーシア・フィリピン・ベトナムの輸出を拡大する。拠点のあるタイ・インドネシア国内の新車メーカー販売台数は回復傾向にある。補修向けは、一昨年と昨年、スローダウンしたが、足元は状況が良くなっている。各拠点で力をいれていく。

（黒田代表取締役社長が回答）

- 自動車セグメントは海外に拠点があるが、産業セグメントは海外拠点がいないため、今後検討していく。

2

Q バイポーラ型鉛蓄電池の今後についてのご質問をいただいた。

A （井出常務執行役員が回答）

- バイポーラ型鉛蓄電池は、エネルギー貯蔵システム向けを中心に開発してきた。お客様ごとに仕様が異なるので、個別に対応しているため遅れている。本電池は、2ボルトごとに積層する電池。対応力があって、フレキシビリティに富んでいる。今後、既存のお客様との関係を活かすことができるバックアップ用途への展開を検討している。

3

Q 株主総会の招集通知に取締役の顔写真がないことについての質問をいただいた。

A (黒田代表取締役社長が回答)

- 次回、顔写真を招集通知に掲載するか検討する。

以上